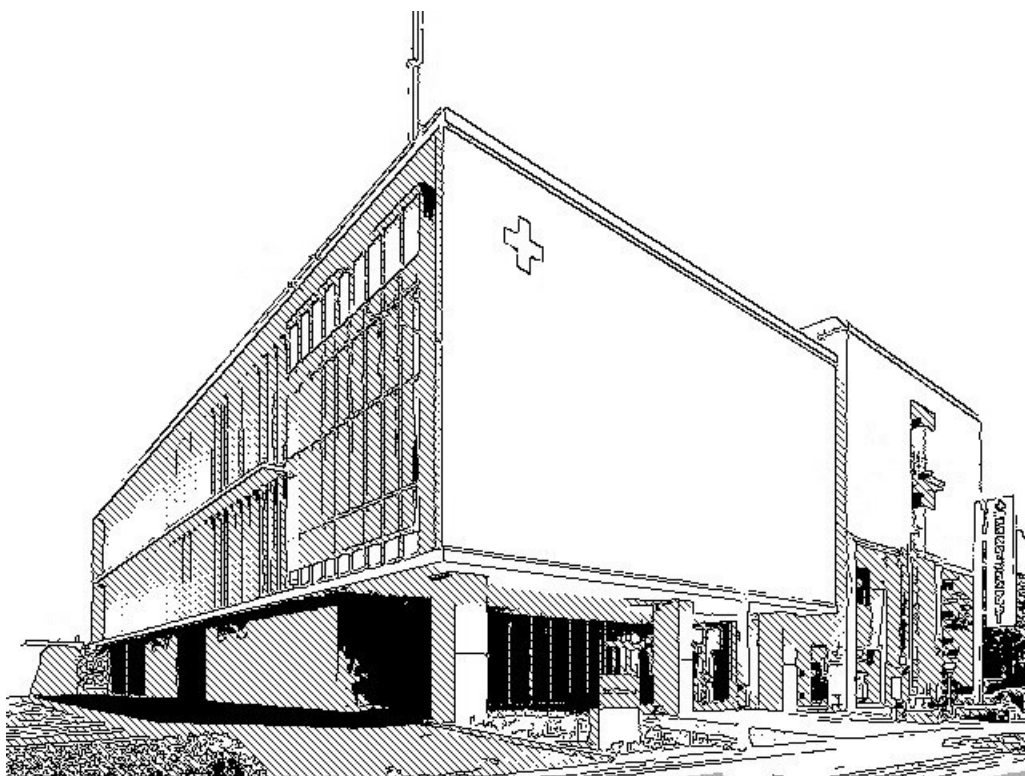


令和2年度 事業報告



日本赤十字社岐阜県支部 社屋全景

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.



日本赤十字社 岐阜県支部
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

I はじめに ～令和2年度をふりかえって～

赤十字事業の推進につきましては、平素から県民の皆様並びに地区・分区をはじめとする関係者の皆様に深いご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活に大きな影響を与えています。

日本赤十字社におきましては、国内で感染が確認されて以降全社をあげて対応し、クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号への医療チームの派遣に始まり、県内の高山・岐阜の両赤十字病院をはじめ、全国の赤十字病院では、過酷な状況が続く中、感染者の受入れや治療に取り組んでまいりました。

血液事業では、コロナ禍により献血業務に大きな影響を受けましたが、多くの献血者のご協力をいただきながら、現在においては、血液の必要量が確保できております。

支部事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた多くの各種講習会やイベントの中止、ボランティア活動の制限などを余儀なくされました。

講習普及事業では、新型コロナウイルス感染症発生当初は、感染予防の観点から講習を全面的に中止していましたが、実技部分を動画視聴に変更するなどの見直しを行い、現在では、感染防止対策を徹底したうえで段階的に再開しております。

また、新型コロナウイルス感染症が社会的な不信や差別を生むという問題について、正しく理解するための啓発用リーフレットを作成し、多くの県内小・中学校などで活用いただいております。

災害救護に関しましては、感染症まん延下における災害救護活動に備え、装備やマニュアルの整備などを行いました。こうしたなか発生した令和2年7月豪雨では、被害が大きかった下呂市において、毛布や緊急セットなどの救援物資の配付や、避難所の状況調査などを行いました。

最後になりましたが、日本赤十字社は発足以来、苦しんでいる人を救いたいという信念と多くの支えにより、様々な事業に取り組んでまいりました。今後も、赤十字に関わる全ての人々と手を携え、地域の皆様の期待と信頼に応えるため努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

II 令和2年度事業の実施状況

1 災害救護

岐阜県支部では、災害時の救援物資として、毛布や身の回り品をセットにした緊急セットを各市町村に配置し、また、支部庁舎内の備蓄倉庫をはじめ、県内9ヵ所の拠点災害備蓄倉庫に、毛布・緊急セットのほか、安眠セット、ブルーシート、災害用移動炊飯器、かんたんテントなどを配置している。

災害時の医療救護体制については、災害救助法に基づく救助委託協定及び災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣協定を、岐阜県と締結し、それぞれ災害拠点病院に指定されている岐阜赤十字病院と高山赤十字病院に、合計8個班の医療救護班と4個班の災害派遣医療チームを編成している。

令和2年7月豪雨災害においては、岐阜県内に大雨特別警報が発令され、県内各地で被害が発生したため、当支部内に災害対策本部を設置し、下呂市内の避難所に救援物資を配布するとともに、職員を派遣し、避難所の状況調査を行った。

こうした災害救護活動が迅速かつ的確に行えるよう、日頃から訓練や研修を行い、体制を整えているが、令和2年度においては特に、感染症まん延下での救護活動に関する研修会を行った。

令和2年7月豪雨で甚大な被害を受けた下呂市へ救援物資を配布



感染症まん延下での
救護活動に関する研修会

(1) 災害救護活動

○令和2年7月豪雨災害における救護活動（岐阜県下呂市）

令和2年7月8日（水）、岐阜県内に大雨特別警報が発令され、下呂市内を流れる飛騨川が氾濫するなど、被害が発生した。これを受け、岐阜県支部では災害対策本部を設置し、情報収集を行い、下呂市からの要請に基づき救援物資を配布するなどの活動を行った。

ア) 岐阜県支部の対応

7月8日（水）	<ul style="list-style-type: none">・日本赤十字社岐阜県支部内に災害対策本部を設置・日本赤十字社岐阜県支部下呂市地区から毛布 190 枚を避難所へ配布
7月9日（木）	<ul style="list-style-type: none">・日本赤十字社岐阜県支部下呂市地区から毛布 70 枚、安眠セット 45 セットを避難所へ配布・岐阜県支部から下呂市へ職員を派遣し、救援物資を補充、拠点避難所となった下呂市立小坂中学校の避難所状況調査を実施

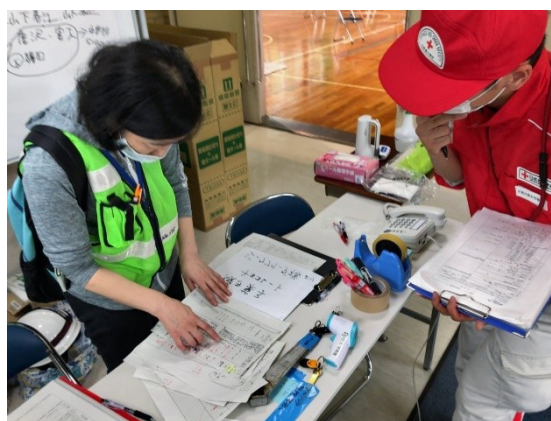
イ) 義援金の受付

被災者を支援するため義援金を募集し、全額を岐阜県に設置された配分委員会へ送金した。

義援金名	件数	金額（円）
令和2年7月豪雨災害義援金（県内）	236	47,297,414



支部災害対策本部で情報収集を行う職員



岐阜県下呂市立小坂中学校（拠点避難所）で
地元保健師から避難所状況を確認する職員

(2) 救護員の育成

①研修の実施状況

主催別	訓練等名称	実施月日	場所	参加者 (人数)
本社	全国赤十字救護班 研修会	新型コロナウイルス感染症 感染防止のため中止	—	—
	日赤災害医療 コーディネート 研修会	新型コロナウイルス感染症 感染防止のため中止	—	—
支部	感染症まん延下での 救護活動研修会	令和 2 年 12 月 21 日	オンライン 開催	85
支部	こころのケア指導者 研修会	令和 3 年 3 月 3 日	オンライン 開催	16

②訓練の実施状況

例年開催している支部施設合同災害救護訓練については、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止した。

(3) 救護員の登録・編成状況

○常備救護班編成数及び要員数 ※救護班は、1 班 7 人で編成

区分 施設名	常備 救護班 (班)	常備救護班内訳 (人)						災害 対策本部要員 (人)	血液 供給要員 (人)
		医 師	看 護 師 長	助 産 師	看 護 師	薬 剤 師	主 事	計	
高山赤十字病院	5	5	5	10	5	10	35	2	
岐阜赤十字病院	3	3	3	6	3	6	21	2	
岐阜県赤十字血液センター								2	2
岐 阜 県 支 部								11	
計	8	8	8	16	8	16	56	17	2

(4) 救護資機材、救援物資の整備状況

①大規模災害に備えた拠点災害備蓄倉庫

県下 5 圏域 10 箇所に設置した拠点災害備蓄倉庫に救援物資を備蓄し、災害時における被災者への迅速な支援体制を整えている。令和 2 年度は拠点災害備蓄倉庫へタオルケットの追加配置を行った。

ア) 拠点災害備蓄倉庫設置場所

圏 域	場 所	
岐阜圏域	岐阜市	日本赤十字社岐阜県支部
西濃圏域	大垣市	西濃総合庁舎敷地内
	揖斐川町	揖斐総合庁舎敷地内
中濃圏域	美濃加茂市	可茂総合庁舎敷地内
	美濃市	中濃総合庁舎敷地内
	郡上市	郡上総合庁舎敷地内
東濃圏域	恵那市	恵那総合庁舎敷地内
	多治見市	東濃西部総合庁舎敷地内
飛騨圏域	高山市	飛騨総合庁舎敷地内
	下呂市	下呂総合庁舎敷地内

イ) 救援物資整備現況

設置場所		毛布	緊急 セット	ブルー シート	安眠 セット	タオル ケット	簡易 テント	災害用移動 炊飯器
		(枚)	(セット)	(枚)	(セット)	(枚)	(張)	(台)
岐阜	支部	4,140	360	1,400	522	1,920	5	3
西濃	西濃庁舎	400	96	500	144	100	1	1
	揖斐庁舎	400	60	200	144	100	1	1
中濃	可茂庁舎	400	96	500	144	100	1	1
	中濃庁舎	400	60	200	144	100	1	1
	郡上庁舎	400	60	200	144	100	1	1
東濃	恵那庁舎	400	96	500	144	100	1	1
	東濃西部庁舎	400	60	200	144	100	1	1
飛騨	飛騨庁舎	400	96	500	144	100	1	1
	下呂庁舎	500	60	200	144	200	1	1
計		7,840	1,044	4,400	1,818	2,920	14	12

②災害救援車両等の配備

各地区分区に災害救援車両等を配備し、地域における災害救護体制強化を図っている。

また、高山赤十字病院において災害時の医療救護班派遣に使用する災害救援車両1台について、更新を行った。

○令和2年度配備状況

品名	配備先	
	地区名	分区名
災害救援車両 (4台)	大垣市地区 1台	北方町分区 1台
	山県市地区 1台	
	中津川市地区 1台	
	計 3台	計 1台

災害用 移動炊飯器 (9 台)	岐阜市地区 8 台 飛騨市地区 1 台 計 9 台	
天幕 (18 張)	岐阜市地区 9 張 高山市地区 2 張 中津川市地区 3 張 飛騨市地区 2 張 各務原市地区 1 張 計 17 張	岐南町分区 1 張 計 1 張
災害備蓄倉庫 (1 棟)		北方町分区 1 棟 計 1 棟

③り災者への救援状況

小規模な災害、火災などによりり災者に対し、毛布や緊急セット、お見舞い金の送付など、災害時に準じた対応を行っている。

○お見舞の状況（毛布・緊急セット及びお見舞金）

種類	対象世帯	対象人数	お見舞数等
毛 布	39 世帯	70 人	60 枚
緊急セット	39 世帯	70 人	38 セット
お見舞金			130,000 円

（５）防災ボランティアの養成状況

①赤十字防災ボランティアの養成

赤十字精神を理解し岐阜県支部の災害救護活動をサポートする防災ボランティア養成のための研修会を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催を中止とした。現在、65 名の赤十字防災ボランティアを登録している。

○赤十字防災ボランティア登録人数

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
52 名	51 名	60 名	67 名	65 名

②防災ボランティアのためのこころのケア研修の実施

ボランティアの方々が、被災地での活動を安全に実施できるように、きめ細かなこころのケアの提供と自己管理を含めた対処法を学ぶ「防災ボランティアのためのこころのケア研修」を計画したが、受講者が最少人数に達しなかったため、開催中止となった。

（６）災害義援金の受付状況

国内の被災者を支援する義援金の募集を下表のとおり行い、多くの方々からのご支援をいただいた。これらの義援金は、日本赤十字社本社を通して、各被災県の義援金配分委員会に全額送金した。

義援金名	件数	金額（円）
東日本大震災義援金	126	929,464
平成 28 年熊本地震災害義援金	71	353,763
平成 29 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金	48	64,559
平成 30 年 7 月豪雨災害義援金(広域)	45	125,377
令和元年 8 月豪雨災害義援金	54	145,709
令和元年台風第 15 号千葉県災害義援金	46	112,400
令和元年台風第 19 号災害義援金	164	1,723,972
令和 2 年 7 月豪雨災害義援金（広域）	266	4,507,370
令和 3 年 2 月福島県沖地震災害義援金	29	233,100
合 計	849	8,195,714

（注）令和 2 年 7 月豪雨災害義援金（県内）については、3 ページ参照

（７）防災・減災の取組み

○防災教育事業の実施

岐阜県支部では、過去の災害から得た教訓を踏まえ、地域住民が自ら災害から命を守り、り災に伴う心身の苦痛を軽減することを目的に、災害への備えについての説明や災害図上訓練（DIG）などの防災教育事業を実施している。

実施月日	会場	参加者数（人）
令和 2 年 11 月 11 日	各務原市立各務原特別支援学校	44
令和 2 年 12 月 23 日	岐阜市医師会看護学校	41

2 講習普及事業

赤十字の理念と使命に基づき、生命と健康を守り、安全で心豊かな生活を営んでいただくために、各種講習会を実施している。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながらの開催となったが、感染防止の観点から多くの講習会が中止となった。

(1) 救急法

日常生活における事故の防止の他、意識障害・呼吸停止・心停止などただちに手当しないと生命の危険がある傷病者に行う一次救命処置（胸骨圧迫と人工呼吸、AEDの使用法等）、また、止血のしかた、包帯（三角巾）の使い方、骨折の手当、搬送、災害時の心得などに関する知識と技術を広く普及するため、各種講習会を開催した。

① 支部主催講習

ア) 基礎講習

実施月日	実施場所	受講者 (人)	認定証 交付者(人)
令和2年12月6日	日本赤十字社岐阜県支部	6	6
計	1回	6	6

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、実技を身体的接触を伴わない内容に変更して実施した。

イ) 救急員養成講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

② 支部主催以外の講習

ア) 基礎講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	0	0	0	2	0	0	2
受講者(人)	0	0	0	11	0	0	11
認定証交付者 (人)	0	0	0	11	0	0	11

イ) 救急員養成講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

ウ) 短期講習

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	1	0	11	10	3	1	26
受講者(人)	26	0	282	160	70	13	551

エ) オンラインによる短期講習

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、オンライン上での講習講義や映像を使用した指導を実施した。

実施主体	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的団体	その他	計
回数	0	0	5	0	0	0	5
受講者（人）	0	0	296	0	0	0	296

（２）水上安全法

水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本や自己保全・事故防止、溺者の救助方法、応急手当の方法などを学ぶための講習会を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

①支部主催講習

○救助員Ⅰ養成講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

②支部主催以外の講習

○短期講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

（３）健康生活支援講習

高齢期を健やかに過ごすため、高齢者の健康と安全、介護予防、地域における高齢者支援、自立をめざした介護の方法などを学ぶ講習会を開催した。

また、短期講習として、「災害時高齢者生活支援講習」、「こころとこころの架け橋講習」などの講習を実施した。



コロナ禍のもとでの短期講習の様子

①支部主催講習会

ア) 支援員養成講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

イ) 短期講習

○災害時高齢者生活支援講習

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和２年８月６日	高山赤十字病院	５
計	１回	５

○こころとこころの架け橋講習

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和２年１０月８日	高山赤十字病院	５
計	１回	５

○癒しのハンドケア講習及びリラクゼーション講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

○地域で支える認知症講習

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和２年１０月６日	岐阜赤十字病院	４
令和２年１０月１５日	高山赤十字病院	６
計	２回	１０

②支部主催以外の講習

ア）支援員養成講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

イ）短期講習

実施主体	赤十字 関係 施設	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	企業	公的 団体	その他	計
回数	０	０	０	０	０	３	０	３
受講者 （人）	０	０	０	０	０	５６	０	５６

（４）幼児安全法

こどもが健康で安全に育つことを願って、こどもに起こりやすい事故の予防と救命手当・応急手当の方法、こどもの病気と看病のしかたについて学ぶ講習会を開催した。

また、出前講習として、親子で楽しく学ぶ短期講習「すくすく子育てサポート講習」を実施した。

① 支部主催講習

ア）支援員養成講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

イ) 短期講習

すくすく子育てサポート講習

実施月日	実施場所	受講者（人）
令和2年10月17日	日本赤十字社岐阜県支部	4
計	1回	4

②支部主催以外の講習

ア) 支援員養成講習

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

イ) 短期講習

実施主体	赤十字 関係 施設	赤十字 関係 団体	町内会 自治会	学校	幼稚園 保育園	企業	公的 団体	その他	計
回数	0	0	0	0	3	7	8	0	18
受講者 (人)	0	0	0	0	35	232	139	0	406

③子育て支援ボランティア養成講座

幼児安全法託児付き講習を充実させるため、子育て支援ボランティア養成講座を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止とした。

(5) 指導員の養成・研修等の実施状況

①指導員登録状況

赤十字の協力者（ボランティア）として、応急手当などの方法を広く一般に普及するための知識と技術を有し、講習を行う指導員の登録状況は次のとおり。

(単位：人)

講習種別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
救急法指導員	81	87	99	94	91
水上安全法指導員	11	11	11	11	11
健康生活支援講習指導員	54	71	65	68	68
幼児安全法指導員	33	33	36	33	32

②指導員研修の実施

各講習の更新事項の伝達などを内容とした研修を指導員に対し毎年実施しているが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、昨年度に引き続き文書伝達で行った。

③指導員養成講習の開催

赤十字の理念と使命を理解し、講習普及に尽力できる十分な知識と技術を持った実働的な指導員を養成するため、令和2年度は救急法指導員養成講習を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、身体的接触を伴う実技ができなかったため中止とした。

3 赤十字奉仕団、ボランティアの活動

赤十字奉仕団は、人道・博愛に基づく赤十字理念の実践者としてボランティア活動を行っており、赤十字事業の根幹を支えている。

県内では、42市町村の各地域で組織されている「地域赤十字奉仕団」42団、社会人や学生などで組織される「青年赤十字奉仕団」2団、アマチュア無線技術、赤十字救急法指導員資格、健康生活指導員資格を持つ看護師経験者、青少年赤十字加盟校での指導実績を持つ教員経験者などで組織され、それらの技術や資格を活かした奉仕活動を行う「特殊赤十字奉仕団」7団が活動中である。



手づくりマスクの贈呈（大垣市赤十字奉仕団）

（1）赤十字奉仕団の活動状況

①地域赤十字奉仕団

地域奉仕団は現在、県下42の市町村に組織されており、地域の実情に即した活動を実施している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの奉仕団活動が制限されるなか、感染防止対策を徹底し、不足していたマスクや医療用防護服の作成など創意工夫を凝らした活動を行った。

また、奉仕団県下統一事業として実施している在宅高齢者訪問事業も、コロナ禍のもと、例年どおり実施された。

○奉仕団県下統一事業

事業名	対象	実施人数 (人)	実施日
在宅高齢者訪問事業	地域の高齢者の方	13,163	令和2年7月7日前後 または 令和2年11月3日前後



手作りマスク作成の様子
(東白川村赤十字奉仕団)



小学校への手作りマスク寄付に対する
感謝状の贈呈を受ける奉仕団員
(垂井町赤十字奉仕団)

②青年赤十字奉仕団

社会人で構成される青年赤十字奉仕団は、献血推進や募金活動の他、赤十字事業に関連した諸活動を推進している。また、県内に1団結成されている学生奉仕団と協働し、活動推進している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、定例会をZOOM等のオンライン会議ツールを活用し、団員同士で活動の在り方についての検討や情報交換を行った。

③特殊赤十字奉仕団

ア) 無線奉仕団

アマチュア無線赤十字奉仕団が岐阜、高山、中津川、下呂を拠点として活動しており、特に災害時の緊急通信の補助として、音声交信のみならず、映像配信などの技術力を駆使したリアルな情報を災害対策本部等に配信できるよう訓練活動をしている。令和2年度は、感染対策を実施のうえ、各地域の防災訓練に参加したほか、全国非常無線通信訓練に参加し、非常時の通信確保に努めた。

イ) 安全奉仕団

赤十字の講習指導員により結成された奉仕団で、より良い講習普及活動をめざし、情報交換や指導技術の研鑽を行う他、支部事業の支援活動を実施している。令和2年度は、11月21日及び11月29日の2回、感染対策を実施のうえ、スキルアップセミナーを開催し、団員の知識と技術の向上を図った。

ウ) 看護奉仕団

赤十字病院看護師又は退職看護師である健康生活支援講習指導員を中心に結成されている。看護の知識と技術及び講習指導員の経験を活かし、地域での高齢者支援活動や支部事業の支援を計画していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、活動を休止した。

エ) 青少年赤十字賛助奉仕団

小・中・高等学校などで、青少年赤十字の指導にあたられた教員経験者で構成され、青少年赤十字の発展・普及を支援している。

令和2年度は、赤十字フェア作品展における書道や絵画作品の審査やリーダーシップ・トレーニング・センターでの指導援助の計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、活動を休止した。

(2) 助成金交付状況

種類	団数 (団)	金額 (円)
地域奉仕団運営助成金	42	1,040,250
特殊奉仕団運営助成金	4	115,978
県下統一事業助成金	29	4,360,988
炊き出し活動助成金	5	56,554
病院ボランティア活動助成金	2	38,057
新設及び創立記念事業助成金	2	118,395
計		5,730,222

(3) 奉仕団別組織状況

種別	団数	分団数	班数	団員数 (人)		
				男	女	合計
地域	42	197	173	283	8,587	8,870
青年	2	0	0	11	8	19
特殊	7	4	0	138	29	167
合計	51	201	173	432	8,624	9,056

(内訳 P.16 別表 赤十字奉仕団現況表のとおり)

(4) 会議及び研修会の開催

①会議の開催

ア) 本社主催

開催日	事業名	開催場所	参加者 (人)
令和 2 年 12 月 3 日	赤十字奉仕団中央委員会	岐阜県支部 (WEB 開催)	1

イ) ブロック主催

開催日	会議名	開催場所	参加者 (人)
令和 2 年 7 月 29 日	青年赤十字奉仕団代表者及び 支部担当者会議	文書開催 (静岡県支部主催)	—
令和 2 年 11 月 16 日	赤十字奉仕団委員長 並びに担当者会議	岐阜県支部 (WEB 開催) (三重県支部主催)	1

ウ) 支部主催

開催日	会議名	開催場所	参加者 (人)
令和 2 年 4 月 30 日	地域赤十字奉仕団委員長会議	文書開催	—
令和 2 年 10 月 2 日	圏域別奉仕団委員長 ・地区分区担当者会議	可茂総合庁舎	17
令和 2 年 10 月 7 日		飛騨総合庁舎	8
令和 2 年 10 月 14 日		大垣市総合福祉会館	12
令和 2 年 10 月 21 日		岐阜県支部	15
令和 2 年 10 月 28 日		揖斐総合庁舎	10
令和 2 年 11 月 5 日		東濃西部総合庁舎	9
令和 2 年 11 月 10 日		中濃総合庁舎	8
		計 7 会場	79
令和 3 年 3 月 12 日	赤十字奉仕団 岐阜県支部委員会	岐阜県支部	8

②研修会の開催

○支部主催

開催日	研修会名	開催場所	参加者 (人)
令和 2 年 9 月 17 日	基礎研修会	文書開催	—
—	中堅団員研修会	中止	—
—	リーダーシップ研修会	中止	—

(別表) 赤十字奉仕団現況表

地域奉仕団

奉仕団名	分団数	班数	団員数		
			男	女	計
1 岐阜市	50	0	34人	1,529人	1,563人
2 大垣市	20	0	7人	1,413人	1,420人
3 高山市	4	0	7人	192人	199人
4 多治見市	3	18	0人	104人	104人
5 関市	15	0	0人	475人	475人
6 中津川市	5	0	31人	258人	289人
7 美濃市	0	19	0人	318人	318人
8 瑞浪市	9	0	0人	213人	213人
9 羽島市	0	0	0人	30人	30人
10 恵那市	4	26	0人	201人	201人
11 美濃加茂市	0	0	1人	113人	114人
12 土岐市	9	0	0人	177人	177人
13 各務原市	0	0	129人	94人	223人
14 可児市	12	0	4人	203人	207人
15 山県市	3	0	17人	125人	142人
16 瑞穂市	7	0	0人	87人	87人
17 本巣市	2	2	0人	19人	19人
18 飛騨市	2	5	7人	61人	68人
19 郡上市	7	0	11人	212人	223人
20 下呂市金山	4	25	0人	115人	115人
21 海津市	5	0	6人	74人	80人
22 岐南町	0	0	2人	26人	28人
23 笠松町	3	0	0人	150人	150人
24 養老町	0	0	0人	110人	110人
25 垂井町	7	0	0人	103人	103人
26 関ヶ原町	0	0	0人	14人	14人
27 神戸町	4	4	0人	166人	166人
28 輪之内町	0	0	6人	15人	21人
29 安八町	0	0	0人	20人	20人
30 揖斐川町	6	43	0人	522人	522人
小 計	181	142	262人	7,139人	7,401人

奉仕団名	分団数	班数	団員数		
			男	女	計
31 大野町	0	0	0人	99人	99人
32 池田町	6	0	0人	376人	376人
33 北方町	0	0	0人	29人	29人
34 坂祝町	0	16	9人	126人	135人
35 富加町	0	0	0人	23人	23人
36 川辺町	0	4	0人	65人	65人
37 七宗町	0	11	2人	65人	67人
38 八百津町	6	0	2人	119人	121人
39 白川町	0	0	3人	243人	246人
40 東白川村	0	0	5人	237人	242人
41 御嵩町	4	0	0人	58人	58人
42 白川村	0	0	0人	8人	8人
小 計	16	31	21人	1,448人	1,469人
合 計	197	173	283人	8,587人	8,870人

奉仕団名	分団数	班数	団員数		
			男	女	計
1 岐阜青奉	0	0	6人	7人	13人
2 中部学院	0	0	5人	1人	6人
合 計	0	0	11人	8人	19人

奉仕団名	分団数	班数	団員数		
			男	女	計
1 岐阜無線	0	0	10人	0人	10人
2 高山無線	0	0	15人	0人	15人
3 中津川無線	0	0	34人	1人	35人
4 下呂無線	4	0	42人	2人	44人
5 安全奉仕団	0	0	14人	11人	25人
6 看護奉仕団	0	0	0人	12人	12人
7 青少年赤十字 賛助奉仕団	0	0	23人	3人	26人
合 計	4	0	138人	29人	167人

男 女 計			
総合計	432人	8,624人	9,056人

4 青少年赤十字の活動

生命と健康を大切にする【健康・安全】、人間として社会のため、人のために尽くす責任を自覚し、実行する【奉仕】、広く世界の青少年を知り、仲良く助けあう精神を養う【国際理解・親善】の3つの実践目標を掲げ、「気づき、考え、実行する」という自主・自立の態度目標に基づき、児童生徒の発達段階や学校内外の実情に応じた様々な活動に取り組んでいる。

(1) 活動概要

①青少年赤十字研究推進モニター事業／青少年赤十字防災教育推進事業

研究推進モニター事業は、学校生活における青少年赤十字活動を通して、さらなる青少年赤十字の理解と推進を図ることを目的とし、①健康・安全、②奉仕、③国際理解・親善のいずれかに関わる内容をテーマに、1年を通して実践してもらえる学校を、研究推進モニター校として25校指定し、それらの取組を支援した。

防災教育推進事業は、防災教育を通して自然災害から青少年の健康と安全を守り、また、学校、地域、家庭における防災意識を高めるため、「まもるいのち ひろめるぼうさい」を活用した実践や、先進的・他校の参考となるような取組をしてもらえる学校を、防災教育推進校として2校指定し、それらの取組を支援した。

【研究推進モニター校】

岐阜市立長良小学校	白川町市立黒川小学校	土岐市立肥田中学校
羽島市立竹鼻小学校	土岐市立濃南小学校	恵那市立恵那東中学校
各務原市立那加第二小学校	中津川市立西小学校	中津川市立第一中学校
瑞穂市立中小学校	中津川市立加子母小学校	各務原市立各務原特別支援学校
大垣市立中川小学校	高山市立山王小学校	岐阜県立郡上特別支援学校
大野町立大野小学校	高山市立国府小学校	小学校 18校 中学校 5校 特別支援学校 2校
組合立養基小学校	下呂市立尾崎小学校	
関市立金竜小学校	下呂市立上原小学校	
美濃加茂市立山之上小学校	岐阜市立陽南中学校	
七宗町立神湊小学校	大垣市立赤坂中学校	

【防災教育推進校】

山県市立伊自良南小学校	大垣市立青墓小学校
-------------	-----------

②子ども新聞プロジェクト

このプロジェクトは、東日本大震災をきっかけに、新聞社と岐阜県、愛知県、三重県の日赤支部が連携してスタートした。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止となった。

③国際交流事業

岐阜県支部においては、平成 19 年度から愛知県支部とともに、MRC（モンゴル赤十字社）との国際交流を進めており、外国の子どもたちと会話をしたり、文化の違いを体で感じたりすることによって、自分自身や自国を見つめ直す大変良い機会となっている。令和 2 年度は、モンゴル国の JRC メンバーを受け入れる予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止となった。

④作品コンクールの開催

作品コンクールは、赤十字活動に対する関心を高めることを目的に、県内青少年赤十字加盟校のメンバーを対象として、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の 3 つの課題に関する作品を募集している。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

⑤ワンタッチテントの贈呈

青少年赤十字のメンバーであるとの認識をもって活動してもらうため、また、学校支援の一つとして防災対策の強化や各種行事に活用してもらうため、ワンタッチテント（3m×3m）1 張を県内新規加盟校（令和元年度新規加盟校）50 校に贈呈した。



ワンタッチテント贈呈式を開催
（中津川市立南小学校）

【贈呈校】

平成 26 年度	273 校
平成 28 年度	163 校
平成 30 年度	40 校
令和元年度	88 校

⑥広報資材の作成

資 材 名	数 量
青少年赤十字岐阜	1,200 部

⑦コロナ禍のもとでの活動

新型コロナウイルスを正しく知り、感染を予防し、差別をなくすために日本赤十字社が作成した教材（「新型コロナウイルスの 3 つの顔を知ろう！」「ウイルスの次にくるもの」）を県内全ての小・中・高等学校・特別支援学校へ提供した。

また、「新型コロナウイルスの 3 つの顔を知ろう！」の冊子を作成し、希望する青少年赤十字加盟校（278 校・50,000 部）へ配布した。



新型コロナウイルス関連教材
を使つての授業風景

(2) 加盟校概要

①加盟状況

	令和元年度		令和2年度	
	加盟校(園)数	メンバー数(名)	加盟校(園)数	メンバー数(名)
幼稚・保育園	46	4,377	45	3,926
小学校	359	102,564	366	101,678
中学校	167	51,167	179	53,564
義務教育学校 (令和元年度から前期・後期を合算し計上)	2	280	3	1,354
高等学校等	32	14,597	34	15,572
特別支援学校	22	2,577	22	2,575
合 計	628	175,562	649	178,669

(P.22～ 別表岐阜県青少年赤十字加盟校一覧参照)

②新規加盟状況

P.21 別表のとおり

(3) トレーニング・センター等の実施状況

①本社主催

開催日	研 修 会 名	参加者	会 場
4 月 8 日	青少年赤十字担当者研修会	2 名	岐阜県支部 (Web 会議)
令和 3 年 3 月 20 日	青少年赤十字スタディー・センター	3 名	岐阜県支部 (Web 会議)
中止	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター 指導者養成講習会		

②支部主催

開催日	研 修 会 名	参加者	会 場
中止	高等学校リーダーシップ・ トレーニング・センター		
中止	青少年赤十字指導者養成講習会		
中止	支部リーダーシップ・ トレーニング・センター		

③地区協議会主催

開催日	研 修 会 名	参加者	会 場
中止	揖斐地区トレーニング・センター		
中止	大垣地区トレーニング・センター		

(4) 指導者対象の協議会、研修等の実施状況

①本社主催

開催日	会 議 名	出席者	会 場
9 月 11 日	青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	1 名	岐阜県支部 (Web 会議)
令和 3 年 1 月 8 日	青少年赤十字研究会	1 名	
中止	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会		

②ブロック主催

開催日	会 議 名	出席者	会 場
11 月 17 日	青少年赤十字指導者協議会長及び支部担当者研究会	3 名	岐阜県支部 (Web 会議)
中止	第 3 ブロック 青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会		

③支部主催

開催日	会 議 名	出席者	会 場
6 月 16 日	青少年赤十字賛助奉仕団第 1 回役員会	6 名	岐阜県支部
6 月 19 日	青少年赤十字指導者協議会第 1 回役員会	5 名	
令和 3 年 2 月 25 日	青少年赤十字賛助奉仕団第 2 回役員会	6 名	
7 月 1 日	青少年赤十字賛助奉仕団総会	—	書面表決
7 月 2 日	青少年赤十字指導者協議会総会	—	
令和 3 年 2 月 26 日	青少年赤十字指導者協議会第 2 回役員会	—	

(別表) 新規加盟校一覧

中津川市立第二中学校 中津川市立苗木中学校 中津川市立坂本中学校 中津川市立阿木中学校 中津川市立加子母中学校 中津川市立付知中学校 岐阜聖徳学園大学附属中学校	高山市立日枝中学校 高山市立松倉中学校 高山市立中山中学校 高山市立丹生川中学校 高山市立清見中学校 高山市立北稜中学校 計 13 校
高等学校	
岐阜市立岐阜商業高等学校 岐阜県立大垣西高等学校	岐阜聖徳学園高等学校 計 3 校

(別表) 岐阜県青少年赤十字加盟校一覧

地区・市・郡	小学校	中学校	地区・市・郡	小学校	中学校	地区・市・郡	小学校	中学校	地区・市・郡	小学校	中学校		
羽島地区	足近	羽島	揖斐地区	福束(輪之内)	輪之内(輪之内)	山県市	長森西		美濃市	博愛			
	小熊	竹鼻		仁木(輪之内)			芥見東			武芸			
	正木	中央		大藪(輪之内)			岩野田北			寺尾			
	竹鼻	中島		名森(安八)	登龍(安八)		長森東			武儀西			
	中央			牧(安八)	東安(安八)		柳津			武儀東			
	福寿			結(安八)			加盟率	100%		100%	上之保		
	堀津			加盟率	100%		100%	高富		高富	加盟率	100%	100%
	中島			揖斐(揖斐川)	揖斐川(揖斐川)		富岡	伊自良		美濃市	美濃	美濃	
	東(岐南)	岐南(岐南)		大和(揖斐川)	北和(揖斐川)		梅原	美山			牧谷	昭和	
	西(岐南)			北方(揖斐川)	谷汲(揖斐川)		大桑				大矢田		
北(岐南)		清水(揖斐川)	坂内(揖斐川)	桜尾		藍見							
笠松(笠松)	笠松(笠松)	小島(揖斐川)		伊自良南		加盟率	中有知						
松枝(笠松)		谷汲(揖斐川)		伊自良北			100%	100%					
下羽栗(笠松)		春日(揖斐川)		美山		郡上市	八幡	八幡					
加盟率	100%	坂内(揖斐川)		いわ桜			川合	八幡西					
大垣地区	興文	興文	揖斐地区	大野(大野)	大野(大野)		加盟率	100%	100%	相生	大和		
	東	東		北(大野)	揖東(大野)		各務原市	那加第一	那加	口明方	白鳥		
	西	西		西(大野)				那加第二	桜丘	大和西	高鷲		
	南	南		中(大野)				那加第三	稲羽	大和南	郡南		
	北	北		南(大野)				尾崎	川島	大和北	明宝		
	日新	江並		東(大野)				稲羽西	鶴沼	大和第一北	郡上東		
	安井	赤坂		温知(池田)	池田(池田)			稲羽東	緑陽	郡上市	牛道		
	宇留生	西部		八幡(池田)				川島	蘇原		那留		
	静里	星和		宮地(池田)		鶴沼第一		中央	白鳥				
	綾里	上石津		池田(池田)		鶴沼第二			大中				
	江東			養基(組合立)		鶴沼第三			北濃				
	川並			加盟率	100%	100%	緑苑	石徹白					
	中川			岐阜市	岐阜	岐阜清流	八木山	高鷲					
	小野				明郷	岐阜中央	陵南	高鷲北					
	荒崎				徹明さくら	本荘	各務	三城					
	赤坂				白山	梅林	蘇原第一	吉田					
	青墓				梅林	加納	蘇原第二	明宝					
	牧田				華陽	長森	中央	小川					
	一之瀬				本荘	長良	加盟率	100%	和良				
多良		日野	島		瑞穂市	穂積	穂積	加盟率	100%	100%			
時		長良	岩野田			本田	穂積北	美濃加茂市	太田	西			
墨俣		島	精華			牛牧	巢南		古井	東			
加盟率	100%	三里	藍川	生津			山之上		双葉(組合立)				
高須(海津)	日新(海津)	鷺山	三輪	南		蜂屋							
吉里(海津)	平田(海津)	加納	岐北	中		加茂野							
東江(海津)	城南(海津)	加納西	厚見	西		伊深							
大江(海津)		則武	青山	加盟率	100%	100%	三和						
西江(海津)		長森南	陽南	本巣市	本巣	本巣	下米田						
今尾(海津)		長森北	藍川東		外山	真正	山手						
海西(海津)		常磐	岐阜西		弾正	糸貫	可児市	加盟率	100%	100%			
石津(海津)		木田	藍川北		真桑	根尾		今渡南	蘇南				
城山(海津)		岩野田	長森南		席田			土田	中部				
下多度(海津)		黒野	東長良		土貴野			帷子	西可児				
養老(養老)	高田(養老)	方県	境川		一色		春里	東可児					
広幡(養老)	東部(養老)	茜部		根尾		旭	広陵						
上多度(養老)		鶉		加盟率	100%	100%	東明						
池辺(養老)		七郷		本巣郡	北方	北方	広見						
笠郷(養老)		西郷			北方西		南帷子						
養北(養老)		市橋			北方南		桜ヶ丘						
日吉(養老)		岩			加盟率	100%	100%	今渡北					
垂井(垂井)	不破(垂井)	鏡島		関市	安桜	緑ヶ丘	兼山						
宮代(垂井)	北(垂井)	厚見			旭ヶ丘	旭ヶ丘	加盟率	100%	100%				
表佐(垂井)		長良西			桜ヶ丘	桜ヶ丘	加茂郡	坂祝(坂祝)	坂祝(坂祝)				
合原(垂井)		早田			瀬尻	下有知		富加(富加)					
府中(垂井)		且格			倉知	富野		川辺西(川辺)	川辺(川辺)				
岩手(垂井)		芥見			南ヶ丘	小金田		川辺東(川辺)					
東(垂井)		合渡			富岡	板取川		川辺北(川辺)					
関ヶ原(関ヶ原)	関ヶ原(関ヶ原)	三輪南			田原	武芸川		上麻生(七宗)	上麻生(七宗)				
今須(関ヶ原)	今須(関ヶ原)	三輪北			下有知	津保川		神淵(七宗)	神淵(七宗)				
神戸(神戸)	神戸(神戸)	網代			富野			八百津(八百津)	八百津(八百津)				
下宮(神戸)		城西		金竜		和知(八百津)		八百津東部(八百津)					
南平野(神戸)		藍川		洞戸		錦津(八百津)							
北(神戸)		長良東		板取		久田見(八百津)							

地区・市・郡	小学校	中学校	地区・市・郡	小学校	中学校
	潮見(八百津)			加子母	蛭川
	白川(白川)	白川(白川)		付知北	
	蘇原(白川)	黒川(白川)		付知南	
	黒川(白川)	佐見(白川)		福岡	
	佐見(白川)			下野	
	東白川(東白川)	東白川(東白川)		高山	
加盟率	100%	100%		蛭川	
可児郡	上之郷	上之郷	加盟率	100%	100%
	御嵩	向陽	高山市	東	日枝
	伏見	共和		西	松倉
加盟率	100%	100%		南	中山
多治見市	養正	陶都		北	東山
	精華	多治見		山王	丹生川
	共栄	平和		江名子	清見
	昭和	小泉		新宮	荘川
	小泉	南ヶ丘		三枝	宮
	池田	北陵		岩滝	久々野
	市之倉	南姫		花里	朝日
	滝呂	笠原		丹生川	国府
	南姫			清見	北稜
	根本			荘川	
	北栄			宮	
	脇之島		久々野		
笠原		朝日			
加盟率	100%	100%	国府		
土岐市	土岐津	土岐津	本郷		
	下石	西陵	枋尾		
	妻木	濃南	加盟率	100%	100%
	駄知	駄知	飛驒市	古川	古川
	肥田	肥田		古川西	神岡
	泉	泉		河合	山之村
泉西		宮川			
濃南		神岡			
加盟率	100%	100%	山之村		
瑞浪市	瑞浪	瑞浪	加盟率	100%	100%
	土岐	瑞浪北	下呂市	萩原	萩原南
	陶	瑞浪南		宮田	萩原北
	稲津			尾崎	小坂
	明世			小坂	下呂
	日吉			下呂	竹原
	釜戸			竹原	金山
加盟率	100%	100%		上原	
恵那市	中野方	恵那西		中原	
	恵那北	恵那東	金山		
	飯地	恵那北	下原		
	武並	岩邑	菅田		
	長島	山岡	東第一		
	大井	明智	馬瀬		
	東野	串原	加盟率	100%	100%
	大井第二	上矢作	義務教育学校	小学校	中学校
	三郷			岐阜大学教育学部附属小中	
	岩邑			桑原学園	
	山岡			白川郷学園	
	明智				
串原					
上矢作					
加盟率	100%	100%	私立学校	小学校	中学校
中津川市	南	第一		岐阜聖徳学園大学附属	岐阜聖徳学園大学附属
	東	第二		帝京大学可児	聖マリア女学院
	西	苗木			帝京大学可児
	苗木	坂本			鶯谷
	坂本	落合			
	落合	阿木			
	阿木	神坂			
	神坂	坂下			
	山口	加子母			
	坂下	付知			
川上	福岡				

高等学校
岐阜県立岐阜
岐阜県立長良
岐阜県立羽島北
岐阜県立岐阜総合学園
岐阜県立岐阜商業
岐阜県立各務原
岐阜県立岐阜農林
岐阜市立岐阜商業
岐阜県立池田
岐阜県立大垣西
岐阜県立大垣養老
岐阜県立大垣桜
岐阜県立海津明誠
岐阜県立郡上
岐阜県立関
岐阜県立加茂農林
岐阜県立八百津
岐阜県立東濃
岐阜県立可児工業
岐阜県立東濃フロンティア
岐阜県立中津
岐阜県立益田清風
岐阜県立斐太
岐阜県立飛騨高山
岐阜県立飛騨神岡
佐々木学園鶯谷
富田学園富田
岐阜済美学園済美
岐阜聖徳学園
聖マリア学園聖マリア女学院
帝京大学帝京大学可児
飛騨学園高山西
電波学園ぎふ国際
国立岐阜工業
特別支援学校
岐阜県立岐阜盲
岐阜県立岐阜聾
岐阜県立長良
岐阜県立岐阜希望が丘
岐阜県立岐阜本巣
岐阜県立岐阜清流高等
岐阜県立羽島
岐阜県立揖斐
岐阜県立大垣
岐阜県立西濃高等
岐阜県立海津
岐阜県立郡上
岐阜県立関
岐阜県立中濃
岐阜県立可茂
岐阜県立東濃
岐阜県立恵那
岐阜県立下呂
岐阜県立飛騨
岐阜県立飛騨吉城
岐阜市立岐阜
各務原市立各務原

	加盟校数	メンバー	加盟率
幼稚園・保育園	45	3,926	
小学校	366	101,678	100%
中学校	179	53,564	97%
義務教育学校	3	1,354	100%
高等学校	34	15,572	40%
特別支援学校	22	2,575	100%
合計	649	178,669	

幼稚園・保育園
岐阜市立加納幼稚園
岐阜市立岐阜東幼稚園
岐阜聖徳学園大学附属幼稚園
まどか幼稚園
天使幼稚園
中部学院大学短期大学部附属幼稚園
北方町立幼稚園
庭田保育園
養老町立池辺こども園
養老町立日吉こども園
大野保育園
豊木認定こども園
東さくらこども園
認定こども園うぐいす
組合立養基保育園
池田町立宮地保育園
池田こども園
池田町立温知保育園
池田町立西保育園
池田町立片山保育園
中部学院大学短期大学部附属桐が丘幼稚園
光の子保育園
土岐市立泉小学校附属幼稚園
瑞浪市立桔梗幼児園
瑞浪市立稲津幼児園
瑞浪市立みどり幼児園
瑞浪市立瑞浪幼児園
瑞浪市立一色幼児園
瑞浪市立日吉幼児園
瑞浪市立陶幼児園
瑞浪市立竜吟幼児園
恵那市立武並こども園
恵那市立みさとこども園
恵那市立大井こども園
恵那市立城ヶ丘こども園
恵那市立東野こども園
恵那市立おさしま二葉こども園
恵那市立やまびここども園
恵那市立岩村こども園
恵那市立上矢作こども園
恵那市立山岡こども園
恵那市立明智こども園
恵那市立串原こども園
恵那市立中野方こども園
恵那市立飯地こども園

5 国際活動

紛争や災害で苦しむ人々を救うために、医療救援や衣食住の支援に対する資金援助等を行っている。

(1) 発展途上国に対する開発計画援助

第3ブロック支部合同による国際活動事業として、シリア難民支援事業、東アフリカ地域3カ国地域保健強化事業及びアジア・大洋州給水・衛生キット支援事業に対して、資金の拠出を行った。

項目	金額（円）	備考
シリア難民支援事業	920,000	第3ブロックとして、3事業で20,000千円を拠出
東アフリカ地域3カ国地域保健強化事業	690,000	
アジア・大洋州給水・衛生キット支援事業	690,000	
計	2,300,000	

(2) 職員の派遣

世界的に新型コロナウイルスがまん延したため、国際派遣事業は行われなかった。

(3) NHK海外たすけあいキャンペーン

世界各地で多発する災害や紛争等による犠牲者の緊急救援、保健衛生及び防災・減災等の分野における開発協力事業を日本赤十字社が実施するための資金として、募集した。

実施期間	金額（円）
令和2年12月1日～12月25日	1,212,523

(4) 海外救援金の受付状況

海外で大規模な災害や紛争などの緊急事態が発生した際に、被災国の赤十字社や日本赤十字社が現地で実施する救援活動・復興支援活動の資金として、募集した。

救援金名	件数	金額（円）
中東人道危機救援金	2	3,975
バングラデシュ南部避難民救援金	2	4,001
合 計	4	7,976

（５）安否調査の実施

海外において消息不明になった日本人の安否や海外からの安否調査を、依頼により実施している。令和２年度は、安否調査の依頼はなかった。

６ 県内赤十字施設の運営と連携

（１）医療施設の運営

①高山赤十字病院

○新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症が流行拡大する中、飛騨地域における医療機関を始め保健所、行政などの関係機関と連携して役割分担を協議するとともに、院内においては PCR 検査室や発熱者外来診察室、感染患者専用病床を設置するなど、地域の皆様が安心して受診できる体制の整備・充実を図った。また、感染対策備品の配備や職員の具体的な行動指針の明示など、院内感染防止対策を強化し職員が安全に診療できる体制づくりを行った。

○診療体制の充実

循環器内科の常勤医師が不在となっていたが、大学医局等への強力な働き掛けにより、令和２年度から１名の常勤医師が勤務されたことにより、安定・充実した医療提供体制に繋がった。令和３年４月からはさらに１名増員し、循環器内科の常勤医師２名の診療体制となる予定である。

○働き方改革への対応

働き方改革関連法により職員の適正な就業管理を行うため、令和２年１０月に「就業管理システム」を導入し稼働させた。今後、長時間労働の是正と多様で柔軟な働き方を実現させ、ワークライフバランスの向上に繋げていきたい。

年度	外来患者数（人）	入院患者数（人）
平成元年度	199,682	110,258
令和２年度	184,295	108,327
前年度比	92.3%	98.2%

②岐阜赤十字病院

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、例年になく対応を迫られた１年となった。

４月より感染症病床８床に加え、一般病棟１病棟を新型コロナ専用病床として合計３６病床を確保し、感染者の入院治療にあたった。１０月からは発熱外来を開設し新型コロナウイルス感染症疑い患者の鑑別診断を積極的に実施した。その為、診断に用いる PCR 検査装置及び CT 撮影装置を各１台増設し診療体制の充実を図

った。

また、岐阜県が運営する無症状または軽症患者用宿泊療養施設への看護師派遣や医師によるオンコール対応を担った。加えて、医療の継続的な提供のため院内感染対策を徹底した。

日常診療では、心臓に疾患のある患者の QOL（クオリティ・オブ・ライフ）向上のため新たに職員を配置し心臓リハビリテーションを開始した。病棟においては、夜間に看護補助者を配置し、入院患者へのサービスの向上と看護師の負担軽減を図った。

年度	外来患者数	入院患者数
令和元年度	153,144 人	75,218 人
令和 2 年度	138,837 人	69,330 人
前年度比	90.7%	92.2%

（２）血液事業の推進

令和 2 年度の事業運営にあたっては、新型コロナウイルス感染症により血液確保に大きな影響を受けた一年となった。

献血推進事業は、例年、県、市町村及び献血協力団体と協同で実施している「愛の血液助け合い運動」などのイベントは中止となり、若年層の献血者増のため実施した「献血セミナー」や学域献血の多くが中止となった。小学生を対象とする「夏休み血液センター親子見学会」も中止とした。

事業所献血も中止となる会場が多く発生した。そのような状況下で、感染症対策（職員の健康チェック、マスク着用、手指消毒、献血会場の良好な衛生環境の保持等）の徹底を図ったうえで、再度の依頼を行ったほか、献血ルームや街頭献血において献血者確保に努めた。また、献血推進・予約システムである「ラブラッド」を活用し、事前予約を推進することにより献血者の利便性の向上、密の防止に努めながら献血者を確保した。

このようなコロナ禍の状況においても、医療機関が必要とする輸血用血液を、遅滞なく安定的に供給することができた。

①献血の状況

区 分		令和元年度	令和 2 年度	前年度比
200mL 献血		2,975 人	2,306 人	77.5%
400mL 献血		44,275 人	43,686 人	98.7%
成分献血	血 漿	13,175 人	14,536 人	110.3%
	血小板	7,329 人	8,212 人	112.0%
計		67,754 人	68,740 人	101.5%

区 分	令和元年度	令和 2 年度
400mL 比率	93.7%	95.0%

②供給の状況

区 分	令和元年度	令和 2 年度	前年度比
赤血球製剤	109,107 単位	109,702 単位	100.5%
血漿製剤	32,466 単位	31,098 単位	95.8%
血小板製剤	140,705 単位	132,330 単位	94.0%
計	282,278 単位	273,130 単位	96.8%

※1 単位とは、200mL 献血由来の製剤をいう。400mL 献血由来は、2 単位製剤となる。

※数値は、当センター供給エリアにおける単位数を示す。供給エリアの内訳は以下のとおり。

岐阜県: 東濃地区(多治見市、土岐市、瑞浪市、恵那市、中津川市)を除く全域

愛知県: 一宮市、江南市、犬山市(一部)、扶桑町

(3) 赤十字施設間会議の開催

①支部・施設業務連絡会議（文書審議）

開催日・会場	令和 3 年 2 月 4 日（木）
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 3 年度人事交流・異動候補者配属先の決定について ・ 令和 3 年度新規採用者配属先の決定について ・ 令和 3 年度日本赤十字社岐阜県支部・施設の人事交流・異動方針の改正について ・ 入職 6 年目以前の合同採用者本籍地域の決定について

②支部・施設事務（事業）部長連絡会議（2 回）

開催日・会場	令和 2 年 7 月 17 日（金）日本赤十字社岐阜県支部 2 階中会議室
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 2 年度本社幹部研修の参加者について ・ 令和 3 年度人事について（交流、新規採用） ・ 人事運営上の諸課題について

開催日・会場	令和 2 年 12 月 4 日（金）日本赤十字社岐阜県支部 2 階中会議室
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 2 年度本社人事関係提出物一覧について ・ 人事交流・異動方針の改正について ・ 合同採用職員の本籍地域の決定について ・ 令和 3 年度向け人事交流・異動事務日程について ・ 令和 4 年度に向けての新規採用試験について ・ 令和 3 年度研修実施計画（案）について ・ 令和 2 年度新規採用職員就業前研修会について ・ 日本赤十字社岐阜県支部評議員会の開催について
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 2 年度期中調査の結果について

③人事交流・異動候補者調整会議（1 回）

開催日・会場	令和 3 年 1 月 8 日（金）日本赤十字社岐阜県支部 2 階中会議室
主な協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 3 年度人事交流・異動候補者について ・ 令和 3 年度新規採用職員の配属について 他

(4) 監査及び予備調査の実施

日本赤十字社では、令和元年 7 月から、業務の管理及び執行並びに会計を監査するため外部監査法人による会計監査を導入した。令和 2 年度は、8 月に内部統制に係る書面調査が実施された。

また、岐阜県支部では、監査委員による監査のほか、令和元年度及び 2 年度における経理及び事業の執行について、公認会計士等による予備調査を期中・期末に実施し、業務改善に努めた。

①外部監査法人による会計監査（書面監査）

調査内容	①内部統制調査 ・収益取引 ・財務管理 ・購買取引 ・棚卸資産取引・管理 ・固定資産取引・管理 ・決算 ・給与 ・I T ②補助簿との突合
------	--

②監査委員による監査（書面監査）

対象施設名	監査日
岐 阜 県 支 部 、 高 山 赤 十 字 病 院 岐阜赤十字病院、岐阜県赤十字血液センター	令和 2 年 5 月 29 日

③公認会計士等による予備調査

ア) 令和元年度事業に係る予備調査（WEB）

施設名	期末予備調査実施日
岐 阜 県 支 部	令和 2 年 5 月 8 日
高 山 赤 十 字 病 院	令和 2 年 4 月 23, 24 日
岐 阜 赤 十 字 病 院	令和 2 年 4 月 21, 22 日
岐阜県赤十字血液センター	令和 2 年 5 月 11 日

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、オンラインビデオ会議システムを利用して行った。

イ) 令和 2 年度事業に係る予備調査

施設名	期中予備調査実施日
高 山 赤 十 字 病 院	令和 2 年 10 月 5, 6 日
岐 阜 赤 十 字 病 院	令和 2 年 11 月 12, 13 日

7 看護師の養成

(1) 赤十字看護師の養成

保健医療活動、災害救護活動など国内外で活躍できる優秀な看護師を養成するため、日本赤十字豊田看護大学において岐阜県支部長推薦制度を設けて、看護師の養成を行った。

養成の状況

学年	養成数（人）
第1学年	3
第2学年	4
第3学年	4
第4学年	4
計	15



日本赤十字豊田看護大学（愛知県豊田市）

(2) 学生確保のための活動

①入学説明会

岐阜県支部長推薦生の確保のため、県内高等学校進路指導担当教諭への説明会を次のとおり開催した。（岐阜地域のみ）

開催日	令和2年7月29日（水）
会場	日本赤十字社岐阜県支部
参加者数	4人
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大学概要説明 ・令和3年度赤十字特別推薦選抜試験制度の説明 ・岐阜県支部長推薦入学生奨学金制度の説明 ・高山・岐阜赤十字病院の紹介

※高山地域においては、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、高等学校4校を訪問し、上記内容の説明を行った。

②合格者説明会

合格した岐阜県支部長推薦生を対象に、入学手続き等に関する説明会を実施した。また、支部長推薦生として病院に勤務している卒業生との交流会を行い、大学生活や就職についてのアドバイスをいただいた。

開催日	令和3年2月18日（木）
会場	日本赤十字社岐阜県支部
参加者数	6人（合格者3人及びその保護者）

8 赤十字思想の普及・広報

(1) イベントの開催

①赤十字フェアぎふの開催

赤十字思想の普及と日頃の活動を紹介するイベントとして、例年「赤十字フェアぎふ」を開催している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から中止としたが、各務原市において、防災イベントとして赤十字のパネル展示を行った。

パネル展示：イオンモール各務原 1階ノースコート [9月1日～6日]

(2) 広報資材の作成と配布

①支部作成

資 材 名	部 数		
「日赤ぎふ」(県内全世帯へ配布)	654,000 部		
「赤十字だより ぎふ」 (市町村窓口、公共施設、赤十字関係者へ配布)	第50号(4月)	10,600 部	43,200 部
	第51号(7月)	11,400 部	
	第52号(10月)	10,600 部	
	第53号(R3.1月)	10,600 部	

②本社作成

資 材 名	部 数		
「赤十字NEWS」 (市町村窓口、公共施設、赤十字関係者へ配布)	4月号	1,300部	19,600部
	5月号	3,700部	
	6月号	1,300部	
	7月号	1,300部	
	8月号	1,300部	
	9月号	2,100部	
	10月号	1,300部	
	11月号	1,300部	
	12月号	2,100部	
	R3.1月号	1,300部	
	2月号	1,300部	
	3月号	1,300部	
ポスター（運動月間／ブランディング広報）	3,250部		
パンフレット	32,000部		
パンフレット（法人社資募集 DM に同封）	2,659部		

(3) メディアを活用した広報展開

新聞紙面による広告掲載	中日新聞・岐阜新聞・朝日新聞	5月8日
岐阜放送によるテレビ放映	15秒スポット放送/31回	5月中
路線バス車内ステッカー広告	5社/計173台	4月～3月
遺贈、相続財産等のWEB広告		4月～3月
日本赤十字社岐阜県支部公式YouTubeチャンネル開設		3月
高校生向け広報誌への広告掲載	岐阜新聞：高校ダイアリー春号	3月25日

(4) 赤十字思想の普及

①公式マスコットキャラクター「ハートラちゃん」の活用

高山赤十字病院内でのイベントで着ぐるみを着用し、赤十字の PR を行った。
また、公式マスコットキャラクターをデザインした様々な広報グッズを配布した。

○広報グッズ

クリアファイル	ポケットティッシュ	ステッカー
ハンドタオル	手ぬぐい	ジッパーバッグ

②新型コロナウイルス関連

新型コロナウイルスによる差別・偏見等を防止することを目的に、行政機関の広報用モニターを活用して「ウイルスの次にくるもの」を放映した。また、行政機関のホームページや広報誌等に本社作成の教材（「新型コロナウイルスの 3 つの顔を知ろう!」、「ウイルスの次にやってくるもの」）を掲載した。

さらに、新型コロナウイルスによる差別・偏見等の防止や、日本赤十字社の対応を紹介する広告を、5 月 28 日と 6 月 30 日の 2 回、岐阜新聞に掲載した。

(5) 国際人道法普及セミナーの実施

国際人道法は、紛争の影響を最小限に抑えることを目的とする紛争時に適用される国際的なルール総称である。日本赤十字社は、国際社会の一員として、赤十字国際委員会（ICRC）駐日事務所や関係省庁とも協力して、国際人道法の普及を行っており、岐阜県支部では下記のとおりセミナーを実施した。

開催日	会 議 名	出席者	会 場
8 月 25 日	「赤十字と倫理」研修	35 名	高山赤十字病院 講堂

9 会員と活動資金

(1) 会員及び社資の状況

日本赤十字社の事業は、会員等からいただいた社資によって運営されており、会員及び社資の状況は次のとおりである。なお、平成 29 年度から制度改正により、社員の名称を会員に変更している。

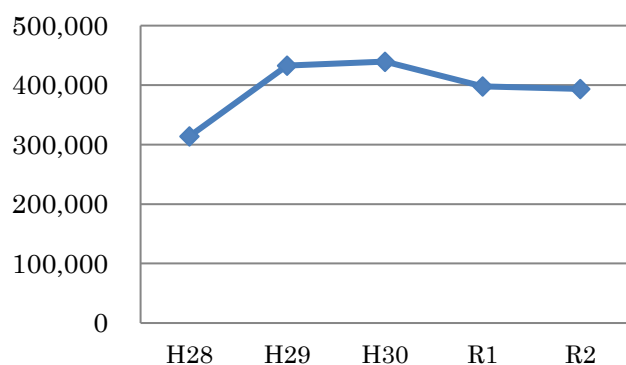
① 社員の状況（制度改正前）

区分 年度	一般社員数(人)	法人社員数(法人)
H28	314,025	2,786

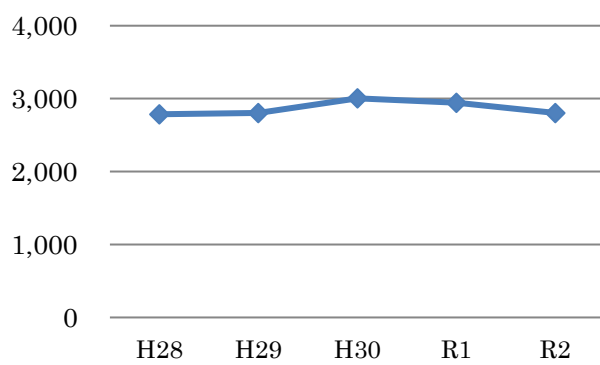
会員の状況

区分 年度	一般会員数 (人)	一般協力 会員数(件)	一般計	法人会員数 (法人)	法人協力 会員数(件)	法人計
H29	326	432,682	433,008	238	2,566	2,804
H30	397	439,144	439,541	330	2,674	3,004
R1	491	397,410	397,901	394	2,550	2,944
R2	659	392,857	393,516	409	2,397	2,806

一般会員数の推移（過去 5 年間）



法人会員数の推移（過去 5 年間）

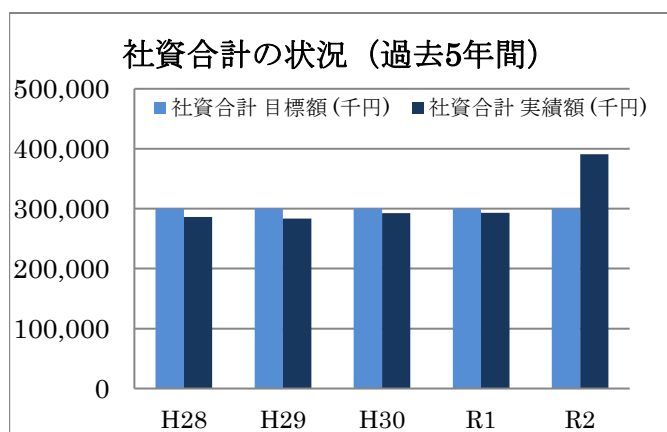
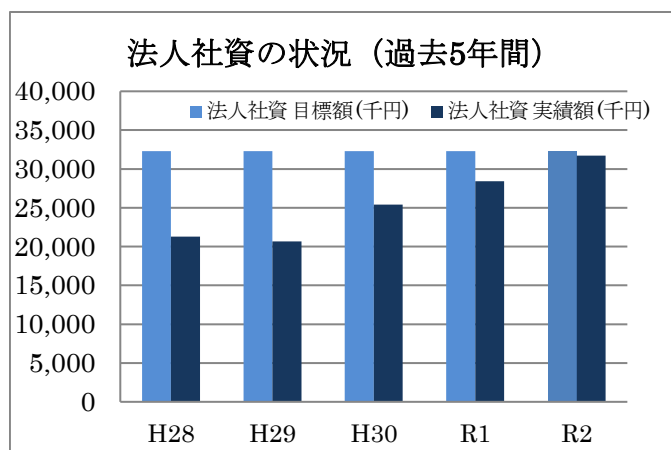
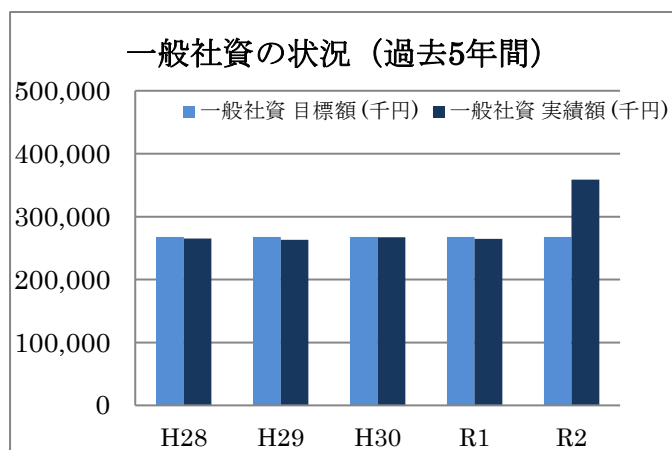


※平成 29 年度以降の数値については、会員・協力会員の合計

② 社資の募集状況

区分 年度	一般社資			法人社資			計		
	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)
H28	267,700,000	265,161,572	99.1	32,300,000	21,261,882	65.8	300,000,000	286,423,454	95.5
H29	267,700,000	262,982,701	98.2	32,300,000	20,667,056	64.0	300,000,000	283,649,757	94.5
H30	267,700,000	267,308,866	99.9	32,300,000	25,403,610	78.6	300,000,000	292,712,476	97.6
R 1	267,700,000	264,651,764	98.9	32,300,000	28,409,645	88.0	300,000,000	293,061,409	97.7
R 2	267,700,000	359,127,238	134.2	32,300,000	31,726,959	98.2	300,000,000	390,854,197	130.3

※ 上記社資実績額には、一般指定事業社資収入扱いとなる海外救援金は含まれておりません。



(2) 岐阜県赤十字有功会

①概況

岐阜県赤十字有功会は、社資功労による有功章を受章された個人・法人の方々が、日本赤十字社の活動を支援するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的として、平成 21 年 3 月 4 日に設立された任意の支援団体である。

【岐阜県赤十字有功会会員数】

	個人会員	法人会員	計
令和元年度	29	86	115
令和 2 年度	28	89	117

②事業

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を一部変更して実施した。

ア) 総会の開催

例年 7 月に開催している総会は、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、開催を取り止め、文書審議とした。

イ) 岐阜県赤十字病院への寄付金贈呈

コロナ禍のもとでの新たな社会貢献事業として、県内において新型コロナウイルス感染症に当初から対応し、多くの患者の治療に当たってきた岐阜赤十字病院へ寄付金を贈呈した。令和 2 年 9 月 17 日に開催した贈呈式において、会長から病院長へ寄付金 50 万円が贈られた。

ウ) 青少年赤十字加盟校への図書贈呈

子どもたちに豊かな心を育んでもらうことや、赤十字について知ってもらうことを目的に、平成 21 年度から青少年赤十字加盟校へ図書を贈呈しており、今年度は、小学校 12 校、中学校 13 校、高等学校 3 校が対象となった。令和 3 年 2 月 9 日に開催した贈呈式において、会員の代表から中津川市立高山小学校の児童代表へ図書及び図書カードが贈られた。



岐阜赤十字病院への寄付金贈呈



青少年赤十字加盟校への図書贈呈

(3) 企業等とのパートナーシップ

社会貢献活動に意欲のある企業・団体の創立・周年を記念した寄付や寄付つき商品、株主優待、ポイントプログラムなどを活用し、赤十字活動との連携を進める。

①パートナー企業の状況

寄付つき商品や株主優待、ポイントプログラムとして、日本赤十字社への寄付を導入

導入企業	寄付金付自動販売機	10 社
	株主優待	3 社
	ポイント交換	1 社

②カウンタープレートの配付

日本赤十字社の活動支援企業であることを表すカウンタープレートを法人会員、寄付金付き自動販売機設置先ならびに有功会法人会員へ配布

配 布 先	法人会員	362 社
	有功会法人会員	87 社
	寄付金付自動販売機設置先 (有功会員を除く)	8 社

(4) 表彰

日本赤十字社への寄付や赤十字活動における顕著な功労者に対し表彰を行った。

【表彰の種類と件数】

功労区分	表彰区分	件数
社資功労（個人）	銀色有功章	6 件
	金色有功章	5 件
	社長感謝状	3 件
	厚生労働大臣感謝状	3 件
社資功労（法人・団体）	銀色有功章	21 件
	金色有功章	7 件
	社長感謝状	8 件
	厚生労働大臣感謝状	2 件
業務功労（個人、法人・団体）	銀色有功章	184 件
	金色有功章	97 件

※社資功労：社資累計額が 20 万円以上で
銀色有功章
社資累計額が 50 万円以上で
金色有功章
個人 100 万円以上、法人 300 万円
以上で厚生労働大臣感謝状
業務功労：赤十字関係役職功労
奉仕団・奉仕団員継続活動功労
青少年赤十字加盟校継続活動功労
赤十字講習指導員継続活動功労
献血功労 等

【金色有功章：個人】



有功章記



有功章（男性）



有功章（女性）



略章

【金色有功章：法人・団体】



有功章（楕型）



略章

10 役員・評議員

(1) 岐阜県支部の組織

岐阜県支部の運営は、支部評議員会等の決定事項を踏まえ、各地区・分区の協力を得ながら行っている。

令和2年度に開催した評議員会、地区分区との主要会議の状況は次のとおりであるが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、集合形式での開催を取りやめ、文書審議を行った。

①日本赤十字社及び岐阜県支部役員等の就任状況

P. 48～ 参照

②地区分区所在一覧

P. 53～ 参照

(2) 評議員会等の開催状況

①評議員会の開催状況（文書審議）

令和2年4月1日（水）	
議 題	1 令和2年度日本赤十字社岐阜県支部監査委員の選出について

令和2年6月3日（水）	
議 題	1 令和元年度事業報告について 2 令和元年度一般会計・医療施設特別会計歳入歳出決算について 3 日本赤十字社岐阜県支部副支部長の選出について 4 日本赤十字社岐阜県支部監査委員の選出について

令和3年1月13日（水）	
議 題	1 令和2年度一般会計・医療施設特別会計歳入歳出補正予算について 2 令和3年度事業計画について 3 令和3年度一般会計・医療施設特別会計歳入歳出予算について

令和3年3月5日（金）	
議 題	1 令和2年度医療施設特別会計歳入歳出補正予算について （岐阜赤十字病院の追加補正予算）

② 地区・分区担当会議の開催状況（文書審議）

令和2年4月21日（火）	
議 題	1 社資募集について 2 地区分区交付金、災害等資金積立金について 3 救急法等講習について 4 災害への備えについて

11 人材育成

(1) 職員研修の実施状況

支部及び県内赤十字施設職員の資質向上のため、本社、第3ブロック、支部が主催する各種研修へ職員を参加させ、人材育成を図った。

主催者	研修名	開催日	参加者数 (人)
本社	中堅幹部職員養成研修会(WEB)	令和2年9月2日～4日 令和2年10月14日～16日	1
	基幹幹部職員養成研修会(WEB)	令和2年10月7日～8日	1
	新規採用職員1年目フォローアップ研修会(WEB)	令和2年12月17日～18日	3
	新規採用職員2年目フォローアップ研修会(WEB)	令和3年2月18日～19日	3
	人事・給与実務担当者研修会(WEB)	令和3年1月24、25日	2
	eラーニング研修	令和2年5月～12月	13
ブロック	新任課長研修会(WEB)	令和2年10月6日～7日	2
	新任係長研修会(WEB)	令和2年11月18日～19日	7
支部	新規採用職員就業前研修会 (令和3年度採用)	令和3年2月16日～17日	1
	ハラスメント研修(管理職・ハラスメント相談員)(WEB)	令和2年11月19日	13
	ハラスメント研修(一般職)(WEB)	令和2年9月16日 令和2年11月19日	40 14

(2) 職員の採用状況

次世代の赤十字事業を担う優秀な職員を採用するため、岐阜県支部では、事務系一般職の合同採用試験を実施しており、令和2年度は次のとおり実施した。

①令和2年度新規職員採用試験実施状況（令和3年度採用者対象）

試験名		開催日	合格者数(名)
新規職員採用試験 (令和3年度採用)	第1次試験 書類選考 課題提出	令和2年5月7日(木)～ 令和2年5月22日(金)	14
	第2次試験 筆記試験 適性検査 (Web試験)	令和2年6月3日(水)～ 令和2年6月6日(金)	7
	第3次試験 面接 (個人)	令和2年6月18日(木)	1

※新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、グループディスカッション形式の面接は中止とした。

②令和2年度新規採用職員

施設名	新規採用職員数(名)
日本赤十字社岐阜県支部	1
高山赤十字病院	1
岐阜赤十字病院	1